

あなたの組織の自動化成熟度は？

5分で分かる現在地診断

👉 上から順番にチェックしてみましょう

なぜ成熟度診断が重要なのか？

- 現在の立ち位置を客観視できる
- 次に取るべきアクションが明確になる
- 投資対効果の高い施策を選択できる

1

個別最適化段階

「部分的に自動化を始めている」

✓ こんな状況なら Level 1

- ☐ 特定の部門だけで自動化ツールを使っている
- ☐ エクセルマクロやRPAを個人レベルで活用
- ☐ 全社的な取り組みにはなっていない

2

標準化段階

「ルールとガイドラインがある」

✓ こんな状況なら Level 2

- ☐ 自動化のルールやガイドラインが存在する
- ☐ 複数部門で同じツールを使い始めている
- ☐ 成功事例を他部門に展開している

3

戦略的統合段階

「経営戦略と連動している」

✓ こんな状況なら Level 3

- ☐ 自動化が中期経営計画に明記されている
- ☐ 専門チーム（CoE）が設置されている
- ☐ ROIを定量的に測定・管理している

4

変革推進段階

「ビジネスモデルを変革している」

✓ こんな状況なら Level 4

- ☐ 自動化で新しい収益源を創出している
- ☐ 組織文化として自動化思考が浸透
- ☐ 市場変化に素早く対応できる体制

5

自律進化段階

「AIが自動最適化している」

✓ こんな状況なら Level 5

- ☐ AIが自動的にプロセスを最適化している
- ☐ 人間の介入なしで継続的に改善
- ☐ 市場変化を予測して先行対応



診断結果を受けて、次に何をする？

Level 1-2 の方へ

1. 小さな成功事例作り
2. 経営層への価値説明
3. 標準化ルール策定

Level 3-5 の方へ

1. 新技術との統合検討
2. 業界エコシステム連携
3. 次世代人材育成



さらに詳しい戦略フレームワークは記事本文へ！